



うすい ゆきこ
臼井 由紀子
(富岳会)



人口減少対策・少子高齢化対策について

問 総合計画において令和3年度の改訂で、前期基本計画の反省を踏まえ何を変えたのか。

部長 将来都市像や将来人口等の基本構想は変更せず重点取組の中の重点プロジェクトや7つの基本目標の中の施策や主要事業について見直しを行った。労働環境の改善や雇用環境の整備、地域を担う人材の育成、出会い、結婚の希望の実現や移住・定住人口の拡大など。更に人口減少社会においても行政サービスの向上を図るための行政デジタル化の推進を新たにプロジェクトとして追加した。

問 当市は製造業が主体であるが、若い女性が働きやすいその他産業の企業誘致は。

部長 ICT企業誘致についてはICT化により業務改善を進めたい中小企業がビジネスチャン

スを求め地方への拠点開設を目指す傾向が強いことからオフィス誘致活動と並行してビジネスマッチングイベントへの出展や参加等を行った。業種や職種にとらわれず個性を生かした魅力ある働き方を提供できる社会を目指し地域特性を生かした優良企業の誘致活動に努めている。

マンダン・デウプールとの都市交流について

問 12月9日に締結式、令和7年3月に現地訪問を予定しているがその内容はいかがか。

部長 12月9日に予定していた締結式は昨日ネパール大使からの連絡で、ネパール政府の訪問許可決定が遅れ日本のビザ取得が間に合わず延期の申し出があった。相手方の事情とはいえ非常に残念。締結式では11月に完成した記念碑の除幕式も行う予定であった。3月の現地訪問については改めて詳細が決定したら報告する。

意見 都市提携は市民交流が礎となつての都市交流が本来の形であると思う。行政主体の都市提携であるのなら徹底した事前調査を行うべきである。



もちづき よしまさ
望月 芳将
(無会派)



国道139号と西富士道路の交通状況改善に向けて

問 令和6年7月18日に発生した事故により信号機2基が倒れ、国道139号が上下線とも通行止めとなった。この影響を市はどのように分析し考察しているのか。

部長 この事故により約9時間の通行止めとなり、朝のラッシュ時に下りは富士インター付近まで、上りは外神交差点まで渋滞が発生した。また周辺道路に迂回する車で大規模な渋滞が発生し、市民に多大な影響を与えたと分析している。今後は、正確な情報をSNSや同報無線で発信していく。また長期的には迂回路線としての富士富士宮道路の推進を図っていく。

問 富士市が進めている西富士道路新インター

チェンジの設置に向けた情報収集を行い岳南北部地区幹線道路との接続を考えては。

部長 情報収集については、令和2年から3年にかけて国、県、富士市、富士宮市とで構成される西富士道路新インターチェンジ設置推進部会で検討された候補地の一つが、今回富士市が設置を進めている箇所となり、令和5年に富士市から情報提供があった。今後も情報共有を図っていく。岳南北部地区幹線道路と西富士道路新インターチェンジとの関係は富士宮市と静岡国道事務所が考えることになる。協議しているところである。

外国人目線でのインバウンドへの取り組みについて

問 外国人向けの情報発信や受け入れ体制のサポートなど行う外務省事業であるJETプログラムの国際交流員を活用してはどうか。

部長 県内でも国際交流員の任用があり、費用面では国からの地方交付税の交付対象となり、任用について調査研究していく。